



No.1 Noodle Restaurant Company
証券コード:9900

高
りん

第50期 上半期報告書 | 2019年4月1日~2019年9月30日





株主の皆様へ



2019年12月

代表取締役社長兼最高執行責任者(COO) **伊藤 修二**

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第50期上半期のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

わが国経済は、継続的な政府の経済政策や景気回復などを背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の影響や中国経済の成長鈍化、海外の政治動向や地政学リスクの高まりによる影響が懸念されるなど、引き続き不安定な状況にあります。

外食産業におきましても、原材料価格の高騰や人手不足による人件費の上昇に加え、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得競争も激化しており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

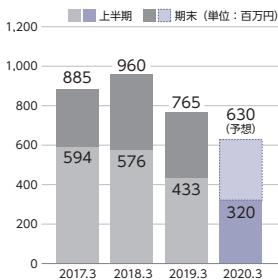
このような経営環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全体で堅持しながら、店舗改革を進めるとともに、当社ビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」を共有し、①事業基盤の強化②収益力の向上③成長戦略の推進を経営の柱に取り組んでまいりました。

本紙面は、その間の取り組み内容をご紹介しますので、ご覧いただければ幸いです。

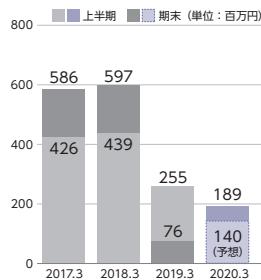
✓ 連結売上高



✓ 連結経常利益



✓ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



✓ 連結純資産・連結総資産



新たな50年に向けた事業基盤の強化

事業基盤の強化

【Q1】 この度の本社移転、監査等委員会設置会社への移行など、会社組織の変更に関して、その具体的な成果をお聞かせください。

■本社移転後の効果

2019年7月14日に長らく名古屋市守山区と愛知県内の飛島村に分かれていた2本体制を解消することを目的に、名古屋市守山区八剣に本社を移転、統合いたしました。経営戦略部門とメニュー開発部門が一体化したことにより、メニュー開発の効率化、購買部門との意思疎通の高度化を図る体制が整いました。その結果として、お客様の来店動機を意識し、「団欒の場」と「普段づかい」を両立したメニュー施策の展開、健康訴求としての減塩メニューや機能性食材の開発強化、フレッシュフルーツを利用したデザートメニューのブラッシュアップを行うことができ、重点施策である客数増に寄与したものと考えております。

■監査等委員会設置会社移行後の経営の変化

取締役会の監督機能を一層強化するとともに、業務執行の効率性の更なる向上を目的に、2019年6月27日開催の当社第49期定時株主総会において、定款一部変更についての承認をいただき、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へと移行いたしました。また、監査等委員会の過半数は社外取締役で構成され、独立した中立な立場からの意見を踏まえた議論が行われております。

■CSV経営の推進

当社の経営理念「すべてはみんなのゆたかさと笑顔のために」の具現化には、“物心両面”での幸せが必要だと考えております。多様な価値を認め合う社内文化醸成と、“三方よし”の考え方を軸としたCSV（共有価値の創造）経営を推進し、持続可能な社会構築への貢献

を進めるために、働き方改革やESGへの取り組みを推進しております。環境面では、従来から店内照明設備のLED化やエコ箸の導入などを進めており、2019年12月より随時、レジ袋を環境に配慮した原材料へ変更し、継続して環境への取り組みを推進してまいります。社会的側面では、昨年女性活躍促進の一環として、「あいち女性輝きカンパニー」認証を取得いたしました。本年は、働き方改革の一環として2019年5月1日を一斉休業といたしました。さらに、2020年4月1日からお客様への快適な空間のご提供とともに、従業員のよりよい労働環境の提供を目的に終日グループ全店の客席を全席禁煙にて営業いたします。ガバナンス面では、2018年10月のホールディングス化に伴い、報酬諮問委員会を発展的に解消し、取締役の選解任の検討を行う指名委員会の機能を加え、指名・報酬諮問委員会を設置いたしました。本年は前述の監査等委員会設置会社へ移行し、更なるガバナンスの強化を進めております。今後も、企業価値の向上へ様々な取り組みを行ってまいります。





上半期の業績の取り組み

【Q2】上半期の業績についてお聞かせください。

■業績のポイント（事業環境と好不調の要因）

上半期業績の振り返り

2020年3月期第2四半期業績は、以下のようになりました。

売 上 高	13,772百万円 (13,350百万円)
営 業 利 益	284百万円 (355百万円)
経 常 利 益	320百万円 (375百万円)
親会社株主に帰属する四半期純利益	189百万円 (100百万円)

()は計画値

売上高は計画値を若干ながら上回りましたが、労働需給逼迫による人件費の上昇に加え、天候不順による原材料費の高騰、及び本社移転に伴う一時費用増加の影響により、営業・経常利益は計画値に及ばない結果となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、7月の保険事業の譲渡による影響で、計画を大きく上回る結果となりました。尚、通期業績予測に関しては、今後の経済情勢や市場環境等に鑑み、前回発表予想を変更しておりません。旬の味覚を意識した季節限定メニューの提供など、更なる価値向上を目指すとともに、お客様起点での経営を徹底し、通期での計画値達成に向け全力で取り組んでまいります。

経営の改善・改革

【Q3】中期経営計画（ローリングプラン2021）

発表延期の背景や今後の展開をお聞かせください。

■中期経営計画（ローリングプラン2021）発表延期の背景

「事業基盤の強化」に注力した今後の中期経営計画の策定に向けて

外食産業を取り巻く環境の変化は目まぐるしく、10月の消費増税に加え、海外経済動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動影響により、不安定な状況が

続いております。このような環境のもと、2020年に創業50周年を迎える当社グループは、100年続く企業へと成長し続けるため、大きな転換点を迎えていると認識しております。そのような中、今後50年先も成長を続ける企業となるべく、本年は「事業基盤の強化」を最重要課題としてとらえ、中期経営計画（ローリングプラン）の発表を1年延期することといたしました。事業基盤の強化への取り組みとして、本社移転による経営の迅速化や、本業への経営資源の集中を目的として、保険事業の譲渡を行いました。成長戦略の推進への取り組みとして、グループ店舗網の拡大を目的に、主力業態「和食麺処サガミ」を石川県金沢市へ「和食麺処サガミ 金沢松村店」として出店したことに加え、5月には愛知県豊田市に「どんどん庵」の出店を10年ぶりに再開いたしました。これで、2017年度の「和食麺処サガミ」、昨年度の「味の民芸」に引き続き、今年度「どんどん庵」の当社主力3業態の出店再開を行うことができました。海外展開につきましても、昨年度、不採算であった中国・インドネシアの撤退を行い、タイ・ベトナム・イタリアに注力する体制を整えました。また、各国の採算性を高めるべく、国内のバックアップ体制を整えております。ベトナムについては、店舗段階での黒字化を達成し、2019年4月7日にベトナムホーチミンに2店舗目となる「手延べうどん専門店SUIZAN Thai Van Lung店（水山タイバンルン店）」をオープンいたしました。今後複数店出店により、収益性の向上を目指してまいります。当社はASEANを海外における重点出店地域と位置付けており、それに加え、今後は、欧州での店舗展開も視野に入れております。また、フランチャイズ展開への取り組みにも力を入れております。ラーメン専門店「ぶぶか」におきましては、新たにフランチャイジーとして仲間になっていただける個人および法人様向けに業態パッケージを紹介する動画を作成し、ホームページを新規作成し、本格的に加盟店募集を開始いたしました。DDA事業本部におきましては、セルフうどん店「どんどん庵」を3店舗、とんかつ専門店「かつたに」を1店舗、合計4店舗をフランチャイズ化した

しました。飲食業界で業態の多様化が進む中で、グループ中長期計画として「FC比率20%」を掲げており、早期達成に向けて引き続き取り組んでまいります。収益力向上への取り組みといたしましては、新たな取り組みとして、あいそ家業態の全店舗に「TOS（テーブルオーダーシステム）」の導入が完了いたしました。お客様の利便性向上、および店舗業務の効率化にスピードを上げて取り組んでまいります。引き続き、当社グループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現を目指し、「事業基盤の強化」に加えて、「収益力の向上」「成長戦略の推進」を柱として取り組んでまいります。

企業価値向上

【Q4】サガミグループのブランド化への取り組みについてお聞かせください。

■お客様の健康に貢献できる、メニュー開発の強化

減塩メニュー、動脈硬化に予防効果のある機能性成分ルチンの含有量が、従来の品種と比較して約100倍含まれる新品种「満天きらり」を使用した韃靼そばの販売を行っております。お客様の認知度が向上したこともあり、健康効果を記載したメニューの販売数は計画を上回って推移しております。

■働き方改革関連法への対応。有給休暇取得状況把握へのシステム導入が完了

2019年4月より働き方改革関連法が随時施行され、年10日以上の有給休暇が付与される従業員に対して、付与日から1年以内に有給休暇を5日以上取得することが義務化されました。当社におきましては、有給休暇取得状況が把握できるシステムを導入し、有給休暇取得を推進する取り組みを行っております。

■IR活動

株主様や投資家の皆様から直接ご意見をいただける場として、IR活動にも力を入れております。7月に行われた

名証IRエキスポにおきましては、例年に増して多数の株主様や投資家の皆様から直接ご意見をいただくことができました。

株主の皆様へ

【Q5】改めて株主の皆様メッセージをお願いします。

人口減少や高齢化、異業種との競争などに加え、消費増税や米中経済摩擦による景気減速懸念が高まる中、当業界並びに当社にとって逆風が続くものと予測されます。このような環境のもと、当社グループは「CSV経営」を推進し、グループビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」を実現するため、時代の変化に柔軟に対応し、着実な経営に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては今後ともご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。





体験型蕎麦打ち施設「蕎麦工房サガミ」 名古屋市内に移転オープン

2019年10月1日、本社ビル別館1階（名古屋市守山区八剣2丁目118番地）に、体験型蕎麦打ち施設「蕎麦工房サガミ」を、移設オープンいたしました。愛知県飛島村の店舗は閉鎖いたしました。

蕎麦工房サガミは、大人はもちろん、お子様連れのご家族も皆様に“作る楽しさ”を体験できる施設として、地域の皆様をはじめ、国内外の旅行者の皆様にご利用いただいております。引き続き近年強まりつつある「モノ」需要から「コト」需要への対応に取り組んでまいります。

また、当社グループは、世界の方々に日本の蕎麦とその健康効果を紹介し、広めることを主要な経営課題の一つとしております。蕎麦の美味しさ、蕎麦打ちの楽しさだけでなく、蕎麦の健康優位性や、日本や世界の蕎麦料理の紹介など、蕎麦に関する様々な情報の展示なども行っており、蕎麦文化を国内外の皆様にお伝えする施設として、更なる活用ができるよう進めてまいります。

【営業時間】 (完全予約制)	①平日	午前の部のみ	9:30～約2時間
	②土日祝	※午前の部	9:30～約2時間
		※午後の部	13:00～約2時間



※写真は2人前です

TOPICS

株主様御優待券仕様変更のお知らせ

2019年9月30日権利確定日以降、株主様御優待券の仕様を変更いたします。1,000株以上保有の株主様へ贈呈している株主様御優待券のサイズをひとまわり縮小し、冊子へと変更いたします。

※株主様にはお手数をおかけいたしますが、切り取らずにお持ちください。

※前回分の株主様御優待券は期限の12月25日までご使用いただけます。



TOPICS

プラスチック製お持ち帰り用ポリ袋を環境配慮素材に変更します

当社グループは、従来使用していましたがプラスチックを原料とするお持ち帰り用ポリ袋を2019年12月より、順次、植物由来のバイオマスポリエチレンを使用した環境袋に変更いたします。

バイオマスポリエチレンは、サトウキビを主原料とした素材であり、石油資源の確保と、CO₂削減の効果が見込まれます。

当社グループは、従来より太陽光パネルの設置や、店内照明設備のLED化、ごみ減量、エコ箸などの取り組みを進めてまいりましたが、今後も事業活動において自然環境との調和を図り、環境への影響の低減と保全活動に取り組んでまいります。



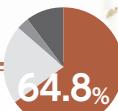
※写真はイメージです。



部門別外食事業の状況

和食麺類部門

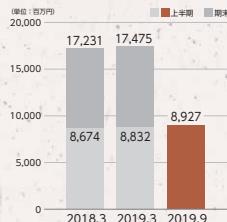
8,927 百万円



和食麺類部門では、当社主力業態である「和食麺処サガミ」において、全店販売促進企画として「クーポン券配布企画」を2回、「大感謝祭」を1回、「料理フェア」を4回、生ビールキャンペーンを1回実施いたしました。また、広告宣伝として、季節メニューをピックアップしたテレビCMを3回実施したことに加え、新たな取り組みとしてSKE48メンバーによる商品PR動画(YouTube)『話食推しメン処サガミ』を毎月1話、計6話(1話×3回、合計18回)リリースいたしました。これにより、既存店売上高は前年同一期間に対して1.0%増となり、既存店客数は前年同一期間に対して0.9%増、客単価が前年同一期間に対して0.1%増となりました。店舗関係では、「和食麺処サガミ 金沢松村店」(5月)を石川県金沢市に出店いたしました。一方で、契約満了により「和食麺処サガミ いずみ中央店」(4月)、「和食麺処サガミ 厚木文化会館前店」(9月)を閉鎖いたしました。

■対象店舗

和食麺処 サガミ



134 店舗

うどん庵部門

464 百万円

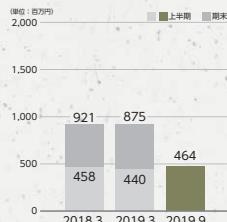


うどん庵部門では、全店販売促進企画として「うどん祭」を1回実施したほか、「料理フェア」を4回実施いたしました。

店舗関係では、愛知県豊田市に「うどん庵 豊田逢妻店」(5月)を出店したほか、「製麺大学 神の倉店」を「うどん庵 神の倉店」(6月)に業態転換いたしました。

■対象店舗

うどん庵



36 店舗 (FC含む)

味の民芸部門

2,896 百万円

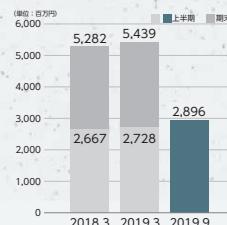


味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を5回実施したほか、「スクラッチカード配布企画」を2回、「改元記念メニュー」、「うどん食べ放題企画」、「感謝祭」を各1回実施いたしました。

店舗関係では、契約満了により「味の民芸 小田原店」(5月)を閉鎖いたしました。

■対象店舗

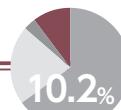
味の民芸



56 店舗 (FC含む)

その他の部門

1,418 百万円



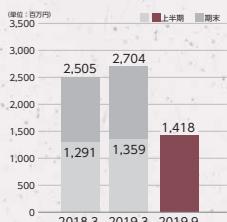
その他の部門では、団樂食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を4回、「東邦高校優勝企画」、「感謝祭」を各1回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を5回、折込みチラシによるお客様感謝企画を2回実施いたしました。

国内店舗関係では、「濱町 上大岡店」(6月)、「水山 丸の内オアゾ店」(7月)を閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、ベトナムに「水山 タイバンルン店」(4月)を出店いたしました。

■対象店舗

あいそ家 釜揚げうどん 製麺大学
水山 和食 濱町



38 店舗 (FC含む)

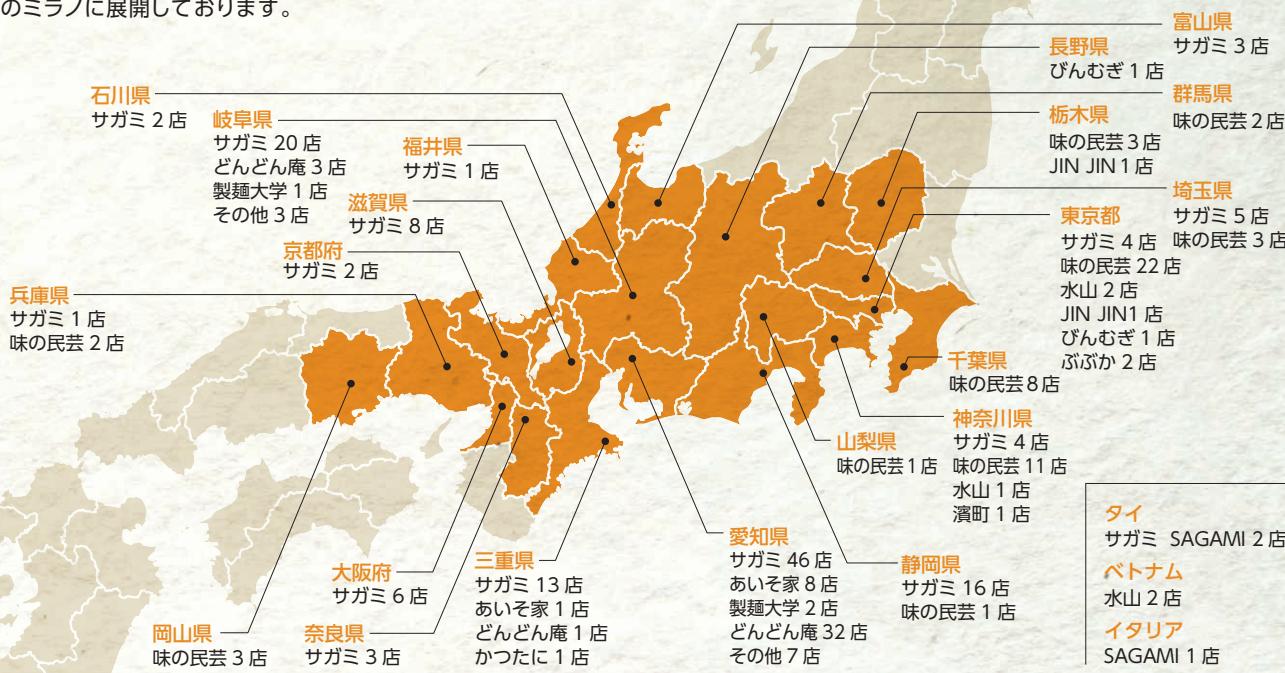
店舗ネットワーク

(2019年9月30日現在)

当社グループは、「和食麺処 サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「さがみ庭」「びんむぎ」「JINJIN」「濱町」「健やか食堂」「DelaPASTA Kitchen」「かつたに」「ぶぶか」「SAGAMI」を展開しております。また海外はタイ王国のバンコク、ベトナムのホーチミン、イタリアのミラノに展開しております。



合計
264
店舗



新店情報 2019年5月24日にオープン

和食麺処サガミ 金沢松村店

和食麺処サガミを石川県金沢市に出店いたしました。

【住所】石川県金沢市松村4丁目377

【電話】076-256-1775

【営業時間】11:00~23:00 (オーダーストップ22:30)

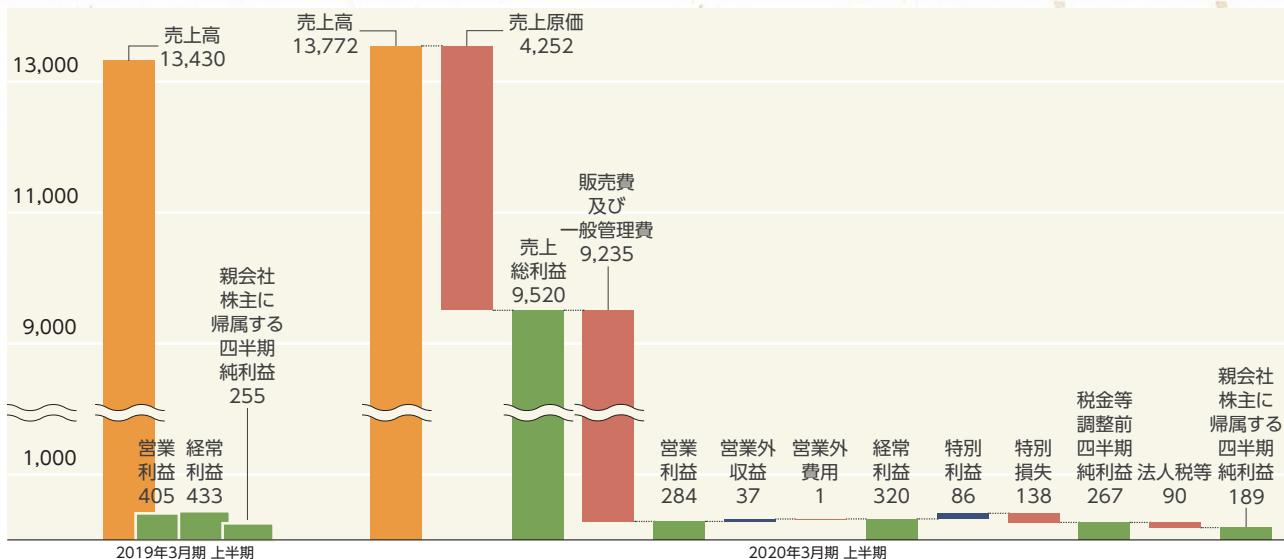




連結財務諸表 (要約)

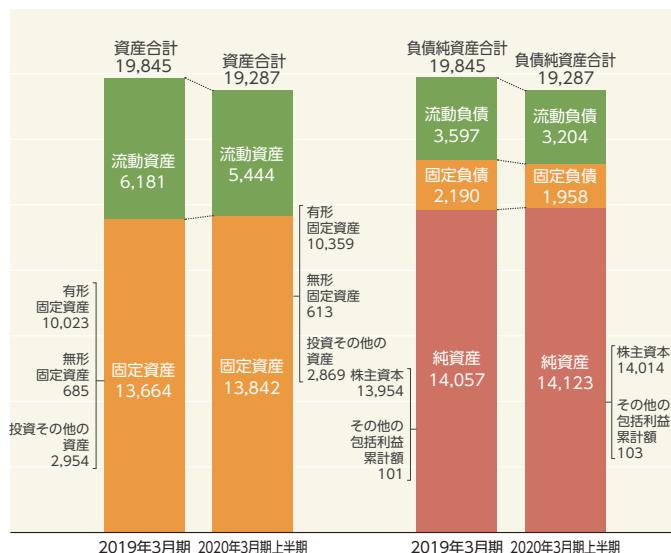
■ 連結損益計算書

(単位：百万円)



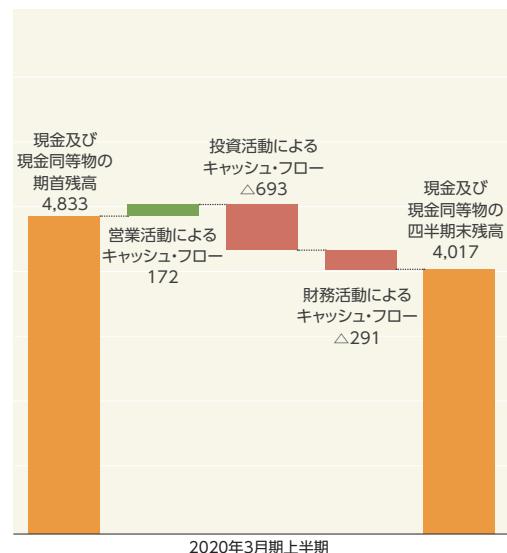
■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)





■会社概要

商号	株式会社サガミホールディングス
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	7,178,109,149円
従業員数	635名
本社	名古屋市守山区八剣二丁目118番地
店舗数	264店舗
グループ企業	サガミレストランズ株式会社 味の民芸フードサービス株式会社 株式会社サガミマネジメントサポート 株式会社サガミフード サガミインターナショナル株式会社 SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. BANGKOK SAGAMI CO.,LTD. NADEERA GLOBAL CO.,LTD. VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY SAGAMI ITALIA S.R.L.

■役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長
兼最高経営責任者 (CEO) 鎌田 敏行

代表取締役社長
兼最高執行責任者 (COO) 伊藤 修二

取締役常務執行役員 大西 尚真

取締役執行役員 長谷川 喜昭

取締役執行役員 鷺津 年春

取締役 遠藤 良治 (社外)

取締役 川瀬 千賀子 (社外)

取締役常勤監査等委員 伊垣 政利

取締役監査等委員 神谷 俊一 (社外)

取締役監査等委員 村上 貴子 (社外)

(注) 遠藤良治、川瀬千賀子、神谷俊一および村上貴子の各氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。

■株式情報

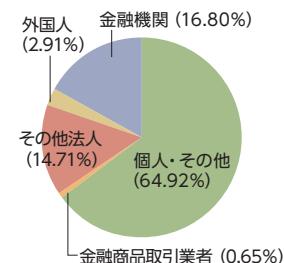
1 発行可能株式総数	100,000,000株
2 発行済株式総数	26,501,784株
3 株主数	16,534名
4 大株主	

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
昭和产业株式会社	11,940	4.50
アサヒビール株式会社	10,320	3.89
株式会社愛知銀行	9,239	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	5,266	1.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,755	1.79
株式会社昭和	4,339	1.63
第一生命保険株式会社	3,990	1.50
サガミ共栄会	3,833	1.44
大嶋つき子	3,754	1.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	3,469	1.30
合計	60,905	22.99

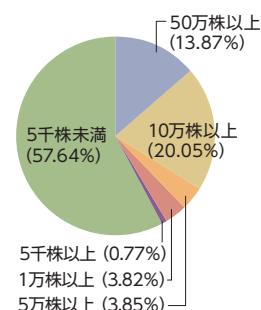
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として16,772株を所有しております。
3. 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が130,700株を所有しておりますが、ここでは上記自己株式に含めておりません。

5 株式分布状況

①所有者別分布



②所有株式数別分布



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告
定時株主総会	毎年6月下旬		事故その他やむを得ない事由によって
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日		電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ 公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
		インターネット ホームページ	https://www.sagami-holdings.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号	三井住友信託銀行株式会社	証券代行部
郵便物送付先 及び電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	三井住友信託銀行株式会社	証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)

株主優待のご案内

・1,000株以上保有の株主様※1
年間3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券
(1万5千円を年2回)を贈呈

・500株以上1,000株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間10枚(5枚を年2回)贈呈

・100株以上500株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間4枚(2枚を年2回)贈呈

※1.1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「SAGAMI」「さがみ庭」「ごちたく」「びんむぎ」「JINJIN」「Dela PASTA Kitchen」「濱町」「健やか食堂」「かつたに」「蕎麦工房 サガミ」「ぶぶか」にてご利用いただけます。

※2.1枚につき、割引上限金額は3,000円(税込)となります。株主優待券を含む他の券との併用はできません。ご飲食代金にのみご利用いただけます。「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「JINJIN」「サガミ村」「Dela PASTA Kitchen」「びんむぎ」「健やか食堂」「かつたに」「ぶぶか」においては、20%割引ではなく、お一人100円(税込)割引とさせていただきます、1枚で4名様までご利用いただけます。



【権利確定日】毎年3月31日、9月30日
【発送予定】毎年6月下旬、12月中旬



左記QRコードよりご利用店舗
をご確認いただけます。



ホームページのご案内

当社に関するさまざまな
情報を発信しております
ので、ぜひご覧ください。



<https://www.sagami-holdings.co.jp/>

株式会社サガミホールディングス

〒463-8535 名古屋守山区八剣二丁目118番地
電話 052-737-6000

